

山行報告書

日時	2021年9月18日(土)~9月19日(日)		天候	晴れ
山名	立山			
CL	kou2	参加者	Y野、T田	
(コース)	9月18日 福岡=14:00 立山駅...15:00 室堂...16:00 雷鳥沢キャンプ場(テント泊) 9月19日 3:30雷鳥沢...5:00真砂岳...5:30大汝山...6:00雄山...8:30雷鳥沢...13:00剣沢 13:30別山中央稜(クライミング)...16:00別山終了点...17:00剣沢			

(コメント)

台風影響で予定は大幅な変更を余儀なくされた。台風の進路予測は安定せず、他の山域への変更も難しい。とはいえ、我々は台風一過の秋晴れを期待し台風とともに北上し、一路富山へ向かう。

18日14:00 立山駅はまだ大粒の雨が降っていた。風はあまりなく、台風の影響はあまり受けていないように思われる。風が強いようなら駐車場で待機とも考えていたが、この程度なら行ける、とのことで、25キロを超える荷物を担ぎ立山駅へ向かう。今回は八ツ峰・チンネを狙っていたので、クライミングギア、ロープまた5日分プラス予備の食糧など荷物はかなり多い。室堂につくと雨は小雨程度、しかしながらガスガスで立山は白い雲に覆われていた。雷鳥沢キャンプ場に着くとすぐにテントを張り、食事を取って早目の就寝とした。外はまだ雨が降っている。

19日3:00起床、真っ先にテントの外に顔を出す。月明りに立山の3,000m級の稜線が浮かび上がっている。見上げれば満点の星空!!期待通りだ!!30分で準備をして行動食と飲料水をサブザックに詰め込んで出発する。

真砂岳の山頂に着く頃、東の空は明らんできた。立山最高峰大汝山(3,015m)でご来光!台風一過の澄んだ空気!期待以上の最高の景色だ。これがあるから山はやめられない!!すぐ近くに後立山連峰、遠くには槍ヶ岳や笠ヶ岳も見える雄山を経由し、紅葉の進む立山を楽しんだ後、8:30には雷鳥沢へ戻る。テントを撤収し我々は剣沢へ移動する。

13:30 剣沢でテントを張り、剣沢キャンプ場の真上に聳える別山の岩場へ向かう。別山の岩場のルートは大きく3つ、あちこちに残置ハーケンはあるがルートは不明瞭。自由に楽しんで、といった感じになっている。我々は中央稜に挑む。短いコースではあるが慎重にルートファインディングしながら1PはT田さん、2Pはkou2、3PはY野が交代でリードを担当する。カムが使えそうなところは練習も兼ねて積極的に使用した。最終ピッチはT田さんリードでトップアウト。途中、先行パーティが落としかなり大きめの石がT田さんの顔に当たりそうになりヒヤッとした。とくにきちんと整備されているわけではないので落石や岩の剥がれには注意しなければならない。残置ハーケンなども信用出来ず。とはいえ、キャンプ場からのアプローチは良く、ローケーションは抜群、左を向けば劔岳、別山に突き上げる岩峰は迫力ある美しさだ。ここは文部科学省登山訓練場になっているとのこと。トポはないがコース取りによっては難しいところもあり楽しみ方はいろいろだ。別山の岩場を目的に来ることは今後もないと思うが、暇になったときの遊び場としてはいいかもしれない。

さて、翌日は八ツ峰を予定していたが、駐在している山岳警備隊からの説明だと、どうも長次郎雪溪の状態が良くないらしい。雪溪に大きな穴が開いている箇所もあり、また抜け落ちそうな箇所も、的確なルートファイが求められるとのこと。ガイドクラスの人たちなら止めないが、かなり注意して欲しいとのこと。ガイドクラス...って(-_-;) 19日剣沢に入山してきた、KOUさんパーティと合流し緊急会議、無理をせず目標を八ツ峰から北方稜線に変更となった。

(記:kou2)



立山最高峰 大汝山(3,150m)からのご来光



雲海に浮かぶ劔岳をバックに、朝日に染まる世界



雄山(3,003m)ではマスク着用



台風一過の澄んだ空、雲海から上がる朝日が美しすぎる



遠く槍ヶ岳、笠ヶ岳、薬師岳、黒部五郎岳etc...



紅葉の立山を楽しむ。



8:30 雷鳥沢のテントを撤収、剣沢へ移動



T田さんと合流、一緒に剣沢へ向かう。
荷物が重くてなかなか進まない。。



別山乗越より、快晴の空と剣岳！！最高！！



別山の岩場、アプローチは剣沢キャンプ場から
ダイレクトに取付きに登っていく



登るY野さん、フリクションの効く岩は快適です



バックに剣沢キャンプ場、奥は別山尾根と雲海



華麗に登るT田さん、頼りになります。



重い荷物担いできた疲れか！？
身体が重い。。



下山は別山気尾根から、ガレガレで傾斜のきつい下り

費用概算

(交通費)
(その他) 駐車場代；無料 テント代：1泊1,000円